

特116

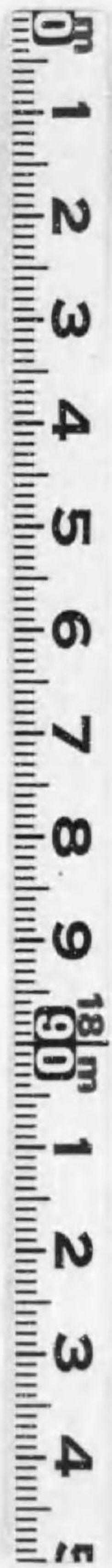
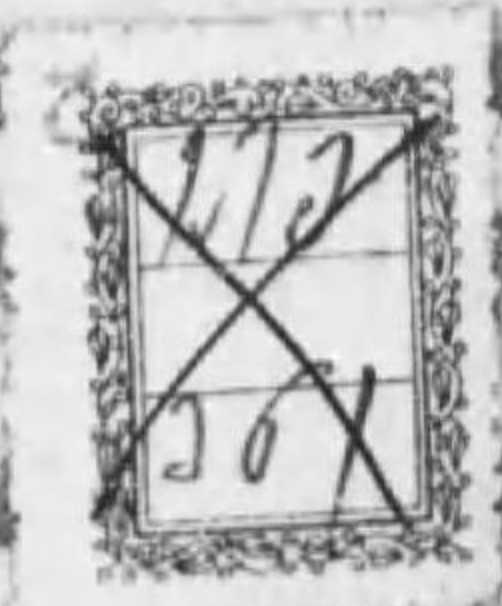
686

紅

葉

狩

2-5



始



97116
686

紅葉狩 内巻之貳ノ五

此曲前ハ艶ニシテウツキリト後ハ凄ミニ強ク謡フベシ
役別 前シテ 女 ツレ
後シテ 鬼女 トモ

ワキ 平維茂 侍女三人又ハ五人
後シテ 鬼女 從者大勢



季 類別 五番目(鬼物)
慶 信濃國上水内郡戸隠山
梨束附

前シテ 面増(近江女ニテモ) 鬘 鬘帶 着附摺箔 赤地唐織着流
鬼扇持 襟白

ワキ 襟赤 葛扇持 鬘 鬘帶 着附摺箔 赤地唐織着流
梨子打鳥帽子 白鉢巻 着附厚板 長絹 白大口 紋付腰帶

トモ 扇指シ 弓矢持 人敷定マリナシ大勢程宜シ 着附鬘斗目 素袍上下 小刀 扇
内一人太刀持

後シテ 面鬘(又ハ獅子口) 赤頭 赤地鉢巻 着附假厚板 法被 半切
縫紋腰帶 襟緑色 打杖持

大正
5. 11. 30
内交

二行表

次才二段「時雨をさく紅葉將」シテツレ連吟サラリト「是を以てあつりよ住む
女まゝの」ト開カニ「あやあからへて」ヨリシテツレ連吟サラリト「飾りさめ」ミラ
まき」ト開カニ「伴ひゆる」トサラリト「下紅葉」モ子バラヌ様ニ「皆やま」終へや
ト開メル心ニテ謹フ

五行表

一声二段本越「面白やはち長月」トサラリト確リト謹ヒ出シ「明ぬとて」サラリ
ト「まはらむを」初同サラリト「通れさの」終よ」ト開メル心「あくる床乃」ト
元へ戻シ「凡のゆくも心さ」返シ開メル心ニテ謹フ

三行表

「いづの銀うある」ワキノ詞ハ開カニ確リトモノ詞ハサラリト「馬よりわいて」ニ
ノ同ハ氣ヲ受ケテ確リト謹ヒ「ころづらひぞたぐひあま」返シ開メル心ニテ
謹フベシ

四行表

「きよや萩あらぬ」以下シテハ開カニワキハサラリト「あら情あ」トカッテ「
掛乃孩よ」モカッテ「向乃流き」地ハ受ケテノシビリト「寂よまのり留むき」
「ト開メル心」さびげト受ケテ出デ「若」あまき」ト開メル心ニテ謹フベシ

五行表

「あやこきしを」クリハサラリト謹ヒ「林向」酒を」トサシハ開カニ「胸うちあわぐ
詩あり」ト開メル心「されき」ふ人」曲ハ開カニ出デ「向へ」わらる心」ト開
メル心「さればゆき」ヨリサラリメニ謹ヒ「あ」や思へ」上端ハ開カニ「可せ」契
り」ト地ハ受ケテ「まづら」お氣色」を」ト開メル心「あ」時刻も」ト氣ヲカ
ヘテサラリト謹フベシ

六行表

「堪ぞ紅葉青苔の地」トシテハ乗ラズニ返シノ地ヨリ来リテサラリト「月付後の」ヨ
リ乗ラズニ少シ開メテ「夢を」さま」終あふ」返シ開メテ謹フベシシテハ造物へ
中入スル

六行表

「あら清ま」や萩あから」サラリト確リト「静く」花よ」ヨリ進ム心「ねほつうあ
」や」ト少シ開メ「う」だや」ヨリ乗ツテサラリメニ謹ヒ「やうぞあま」ヨリ

八行表

「これちち」もさわがは」して「ワキハ開カニ出デ」傲塵よあはんと」ヨリ漸々
進ム心「あうろ」きれ」ト開メル心ニテ謹ヒ納ムベシ

小書

鬼橋 曲舞ノ應答

紅紫梅

糞糞上糞雨雨とと急急ぐぐ紅紅梅梅ががううまま山山
路路をを尋尋母母是是当当此此ああららるる住住
女女ををてていいふふ言言わわららるる入入てて深深世世よよ
ままししももののううめめやや白白雲雲のの八八
重重津津志志ききれれぬぬ宿宿ののららひひままよよ
人人社社みみええぬぬ村村のの身身ををてて産産入入るる志志らら菊菊

118

うらふもさしめほやれたらひとを
のりまじりまらまきまらまらまら
詠めつて四方の梢もさうらうら
伊ひあつ道つるのさきの色も目よ
うせむくう上糸の結ばぬのまは露やほ
らんぐく朝の糸の目白より色は
まくらお井をたけりこの山あり

まらや各下よのさきつる志うらえぬ
流きもやらぬる葉もさうらうら綿
中たんとまらつての本よまらりて
方乃梢もさうらめて智もさうらわ
面白や比多長月廿白のまらりやも
のたまもさうらよ錦もさうらうら
るぬきくや鹿乃物なりなく色と志

春の風は方と討るる^早花^早を^早り^早と^早
 花^早はあつらふとく左様つ入の思おも
 よらば^早さ^早ら^早く^早し^早あ^早ま^早じ^早上^早腐
 乃^早の^早身^早つ^早れ^早紅^早花^早持^早は^早又^早酒^早高^早の^早あ
 ぢ^早ち^早ら^早ら^早ひ^早く^早葉^早ち^早ち^早し^早
 馬^早の^早り^早ち^早り^早て^早昔^早と^早あ^早ま^早じ^早く^早備^早と^早備^早
 て^早に^早備^早れ^早若^早の^早あ^早ま^早じ^早ち^早ら^早ら^早し^早て^早あ^早ま^早じ^早ち^早ら^早ら^早

つ^早て^早そ^早だ^早ら^早ひ^早あ^早ま^早じ^早く^早
 救^早あ^早ら^早ぬ^早身^早行^早の^早山^早れ^早奥^早よ^早ま^早じ^早て^早人^早の^早
 志^早ら^早ば^早と^早し^早ち^早と^早ま^早じ^早て^早獨^早あ^早ま^早じ^早ひ^早の^早紅
 葉^早さ^早の^早つ^早ら^早ら^早み^早ま^早じ^早る^早あ^早ま^早じ^早せ^早身^早
 秋^早は^早然^早た^早志^早ら^早あ^早ま^早じ^早る^早や^早ら^早と^早あ^早ま^早じ^早
 ち^早ら^早ら^早ば^早れ^早て^早あ^早ま^早じ^早也^早
 ち^早ら^早ら^早ば^早れ^早た^早志^早ら^早せ^早給^早た^早ぬ^早道^早

ふらむ便よきよりいづらん
思ひよ早稲

らびりつらむもオシロイ行くは我もいとあはれよ

さカとらむらむもカさるるるるるるるるら

情あひつらむも村雨のあはれ宿

一樹の陰よ女さるりて女行く流女

きとらむ酒といふそでう見るとて女は

へヤラとらむらむ女枝よもさるり女

留ザしきコへコらルグノ名オはノあハらハまシの心
よわくも入さるる女山路女の菊の酒
行く女若女か人ま女る女も女こきいを
あ古も女ららむ女松ガのまの人の
情の壺の深きまりの様しくや女
林下酒とあらむ女紅の葉とたく
もさら面白やあらむ女らら岩の上と

わらけ。蓬が。く。く。猫も。寝。葉。衣。乃
く。れ。お。井。深。き。お。が。ま。り。世。人
た。思。ひ。ま。の。胸。う。ち。あ。わ。ぐ。計。ち。り
さ。の。ま。の。人。い。ま。だ。さ。の。の。行。の
葉。の。づ。の。計。だ。さ。の。ま。の。思。ひ
か。さ。も。盆。よ。向。か。り。さ。の。か。れ。の。松。も
り。あ。め。れ。道。の。様。を。お。ほ。ま。れ。と。の。お。よ

飲。酒。と。や。ず。り。お。の。邪。念。空。語。さ。ろ
た。よ。の。心。の。花。う。づ。ら。か。る。さ。の。ま。の
世。あ。も。た。ら。ひ。あ。ら。し。の。山。様。お。そ。の
か。ら。め。も。い。う。お。ら。ん。上。女。や。思。入。の。見
と。そ。も。前。世。の。葉。り。は。清。う。ら。ぬ。あ。ら
ま。情。れ。を。し。み。ま。の。お。し。も。道。の
さ。の。草。葉。の。露。が。い。さ。の。も。り。ま。の

そ頼^トず^トかく^トま^トと^トち^トぎ^トら^トも^トさ^トら^トれ
う^トち^トづ^トも^トさ^トら^トの^ト心^トも^トさ^トら^トあ^トら^トの^トま^ト
ま^トら^トる^ト氣^トを^トし^トり^トあ^トか^トく^トて^ト時^ト刻^トも^ト
う^トり^トか^トく^ト雲^トよ^トる^トの^トき^トも^トさ^トら^トり^ト救^ト
か^トま^トら^トま^トの^ト首^トの^ト糸^トの^ト琴^トの^トつ
よ^トら^トま^トき^トて^ト月^トの^ト盃^トも^ト袖^トも^トさ^トら^トと
め^トら^トら^トの^ト秋^トの^トた^トく^トの^ト紅^トの^トま^トま^ト紅^ト

紫^ト青^ト苦^トの^ト地^トの^ト紅^トの^ト糸^トの^トた^トの^ト地^ト
よ^ト是^ト涼^トの^ト言^トの^トく^トら^トよ^トあ^トら^トり^ト
く^トあ^トら^トの^トお^トの^トま^トの^ト陰^トの^ト月^トの^ト糸^ト
街^トの^トた^トの^トね^トの^トく^トの^ト袖^トも^トさ^トら^ト
う^トの^ト夢^トの^トさ^トら^トの^ト糸^トの^トあ^トら^ト
あ^トら^トの^ト糸^トの^トも^トさ^トら^トの^ト酒^トの^ト
酔^トの^トま^トの^トあ^トら^トの^ト中^トの^トあ^トら^ト

早^ト上^ト

中^トの^ト糸^ト

中^トの^ト糸^ト

上^ト

上^ト

時々る夢の告と 此 驚く松と雷
火乱き天地も響き内とちてち
るたつとも志らぬ山中ふたほつつか
しやあををきも入る道多る
少くをたはまの法を黙りあふ
岩ほよ火焔を教ちまふこの虚をよ
あのはほとあら 此 咸陽宮の煙の中よ

七尺の屏風はうよるほは
左も右の窓非れ新角かほく眼
き日月面をましく入るま中りそな
早下 働これもちりもさあひて
まきしもさかまひ給め南無やハ幡
大なる障子ふかふ会し
かきあふ人の微塵よあひんと
か

1573
201

復製不許



大正五年十一月廿五日 印刷
大正五年十二月一日 發行

訂著作者 觀世元滋

京都市上京區三條通麩屋町東北角

發行兼 印刷者 檜 常之

印刷所 江 川 堂

(電話番町八六一)

東京市四谷區傳馬町貳丁目十九番地

(圓電話上二千百九十九番)
(振替貯金大隆三千六百八番)

かゝるを飛ちぐはしむとくも鬼非の
ましあつり通ひ可と頭をつつ
てあつらんともまをまがえらひ給ふ
銀よ忍れていも度のがらふと
ろしり色一忽鬼非を志つる
給ふ威勢は程こそおろろも

終

